

住教育検討ワーキンググループ(WG)の検討状況等

1. 校種別会議(小・中学校)

平成 29 年 12 月 14 日 県総合学校教育センター

住教育教材の構成等について

- ・教材の対象項目、記載内容、挿入データ等について既存資料からピックアップ
- ・目次、構成案について検討

2. 住教育副読本(教材)編集部会合同会議

平成 30 年 1 月 24 日 県庁

住教育教材等について編集部会委員との意見交換

- ・住教育教材の対象とする学校種別、教材内容について検討
- ・出前授業メニューの充実について検討
- ・住生活リーフレットの項目等について検討

3. 県立弘前工業高等学校 家庭基礎(出前授業試行)

【資料 3 別紙 1】

平成 30 年 1 月 25 日 「ライフステージに応じた住まいについて考えよう」

- ・29 年 8 月に学校教育センターで試行した出前授業を、学校の授業として実施し検証
- ・居住者の生活やライフステージに合わせた住空間の選択について建築士が解説

4. 「住まい・まち学習」教育実践研修会(予定)

【資料 3 別紙 2】

平成 30 年 3 月 21 日 東海大学高輪キャンパス(東京都港区)

- ・主催:一般財団法人 住総研
- ・内容:住教育有識者の講演、実践事例発表、住まい・まち学習授業の体験ワークショップ
- ・WG 座長及び中学校部会メンバーを派遣予定(昨年度は高校部会を派遣)

リビングリテラシー向上プログラム(出前授業試行)

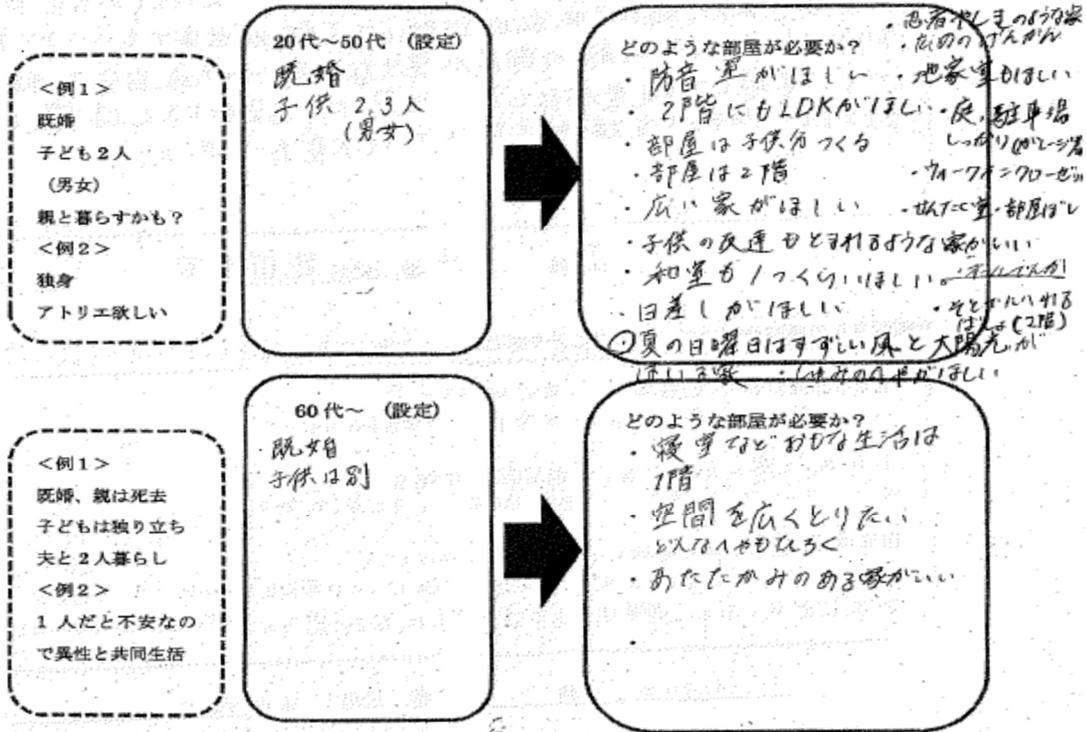
1. 日 時 平成30年1月25日(木) 午前10時50分から午後0時40分まで
2. 会 場 県立弘前工業高等学校 インテリア科1学年教室(担当教諭 山内最子)
3. 講 師 蟻塚学建築設計事務所 蟻塚学氏(一級建築士)
4. 内 容 高等学校家庭(家庭基礎)「ライフステージに応じた住まいについて考えよう」
5. 目 的 居住者の生活やライフステージに合わせた住空間の選択について、講師が設計を手掛けた住宅を例に専門的な視点を交えて解説することにより、住まいや住まい方について生徒の関心を高め、豊かな住生活の実現に対する意識の醸成を図るもの。
6. 実施状況
 - ▷ 講師自身が設計に携わった住宅等の事例を紹介し、計画の際は依頼者の将来の生活スタイルを想定すること、生活の入れ物としての住宅は住まい手のライフステージに応じて変えて(替えて)いけること、マイナス条件(デメリット)でも工夫によりプラス(メリット)に転換できること、特に青森の場合は、積雪や寒冷な気候に負けない工夫が大事であること等について講演した。

主な反応)

- ・自身の将来ビジョンを見出すきっかけとなった
- ・講師からものづくりの意識を学んだ
- ・年齢が上がるにつれて家に求められる設備が変わっていくことに気付かされた
- ・将来の家族構成や自分の夢を考えるほど素敵な家になっていく



【生徒によるワークシート作成例】



この講話を聞いて、家を建てる時は、まず良い家をさがすのと、風呂場が広いとか、トイレが最新式とかにこだわるとはなくて、その住み手が今何歳なのか、職業は何なのかを知って、それに見合せて家を建てることが一番大切ということがわかりました。まず、その地域の気候を調べて寒がたか、寒いところを避けるといって家を建てるという事をやる職人さんには、すごいと思いました。あと、自分は将来、県外に行くか、県内にいるか悩んでいたんですけど、職人さんが言ったとおり、県外に行くって、色んな事を体験して県内に移ると、県外で働く事を始めることが大切だと思いました。

設計のポイントは!!
寒い! 雪多!!

暖かい + 明るい

サニール リビンジ
ガラスを2重に!! 広くなる!

(暖かい空気を逃がさない) 外 | 中 (開けたり) | 内 (開けたり)

青森 外観注意!!

不確定な要素をたのミニマルに!!

丹下健三 聖カトリック聖堂

雪があるからおもしろい家ができる(青森)

三角屋根で雪が落ちる! 人が安心して歩ける!! (りこ公園)

教会はいいよ!!

自己見直し力

第5回

「住まい・まち学習」教育実践研修会

住まい・まち学習の

カリキュラム実践・デザイン力を磨く

2018年 3月 21日(水・祝) 13:00 ~ 17:00

東海大学 高輪キャンパス

4号館 2階 4201・4203 教室

〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23

参加費：無料

定員：60名

締切：定員になり次第締め切り

主催：一般財団法人 住総研

「住まい・まち学習」普及委員会

後援：国土交通省

住まい学習の
ヒント満載

小・中・高等学校の教員の方だけでなく、住まい・まち学習にご関心のある方なら、どなたでもご参加頂けます。

1. 講演

a. 委員会委員による講演

小澤紀美子 (東京学芸大学名誉教授)

勝田 映子 (帝京大学准教授)

楚良 浄 (世田谷区立玉川小学校指導教諭)

b. 住まい・まち学習授業 実践校による発表

実際に住まい・まち学習に取り組む学校(2校程度)の先生方による事例・授業内容の発表。

2. 体験ワークショップ

希望のグループに分かれて、住まい・まち学習授業の体験をします。(詳細は裏面)
参加者同士の意見の交換や経験を通じて、授業づくりに生かせるスキル向上を目指します。

住総研「住まい・まち学習」普及委員会

委員長 小澤紀美子 (東京学芸大学名誉教授)

委員 勝田 映子 (帝京大学准教授)

志村 優子 (まちづくりプランナー)

炭竈 智 (教育図書株式会社)

仙波 圭子 (女子栄養大学教授)

楚良 浄 (世田谷区立玉川小学校指導教諭)

中澤 篤志 (国土交通省住宅局住宅政策課)

JR・京浜急行「品川」より徒歩約18分
東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金高輪」より徒歩約8分
都営地下鉄浅草線「泉岳寺」駅下車、A2出口より徒歩約10分



お問合せ：一般財団法人 住総研

東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 2階
03-3275-3078

申込方法

ホームページの申込みフォーム、または裏面にご記入頂き FAX でお申込みください。

住総研HP http://www.jusoken.or.jp/di_use/study.html

FAX 03-3275-3079

第5回「住まい・まち学習」教育実践研修会 体験ワークショップ グループワーク内容

室内の環境を「見える化」しよう！

室内の温度や湿度、音など目に「見えない」ものに関心をもつことが、快適な空間作りには欠かせません。そこで、サーモグラフィ・ソフト、湿度が見える紙など「見える化」する方法例をいくつか体験します。そして、さらなる「見える化」アイデアを皆さんで考えていきます。

家族がみんなで集まる場を考えよう！

日本の住まいは家族のあり方と密接に関わって変遷しています。寛容さを失いつつある日本の社会において、情報の波に足元があやうく、さらに思春期真っ只中で不安を抱えている中学生の居場所が見えづらくなっています。そこで家族と共に「ゆったり」と「心身ともにリラックス」し、家族の笑い声が響き「居心地が良い」と感じる、明日のエネルギーを充実させる「家族みんなが集まる場」を考えます。

協働生活スペースをつくろう！

災害で避難所生活をするを想定し、スペースと人の関わりを考えます。実際に段ボールや机を使って生活スペースをつくり、協働生活を疑似体験します。防災訓練ではなく、教室という限られたスペースをどう活用すればプライバシーを確保しつつ便利に生活できるか、周囲の人々とコミュニケーションをとりながら過ごせるかについて考えていきます。

多世代間交流空間を考えよう！

(地域交流、居場所づくり)

人口減少の流れの中で、身近な学区の中で、あるいはまち全体として多世代交流・共生の視点に立った地域社会(コミュニティ)づくりが求められています。団地の再生や交流カフェなど、いくつかの多世代間交流空間の事例をヒントにして、その担い手を育む授業づくりのアイデアを検討します。

参加申込み

ふりがな
お名前

ご所属

ご連絡先(ご所属 ご自宅)

(〒 -)

e-mail アドレス

TEL

FAX

住総研 FAX : 03-3275-3079

体験ワークショップ
グループ希望番号 ご希望する番号に丸()を記入ください。記入がない場合は「どのグループでも可」とさせていただきます。また希望人数が多い場合、ご希望に添えない場合がございます。

第1希望

- () 室内の環境を「見える化」しよう！
- () 協働生活スペースをつくろう！
- () 家族がみんなで集まる場を考えよう！
- () 多世代間交流空間を考えよう！
- () どのグループでも可

第2希望

- () 室内の環境を「見える化」しよう！
- () 協働生活スペースをつくろう！
- () 家族がみんなで集まる場を考えよう！
- () 多世代間交流空間を考えよう！
- () どのグループでも可

告知

第10回住教育授業づくり助成募集

住教育授業に取り組む小学校・中学校・高等学校または団体に対し
費用助成を行います。

助成額： 各校/団体一律 10万円

応募資格： 国内の小・中・高等学校(高専を含む)。国立・公立・私立は問いません。
または、上記の学校に対して助成対象授業を行う団体。【今回より新設】

応募校数： を合わせ、全国で5~6件を予定。

授業実施例： これまでの事例は、当財団ホームページの授業実施報告書をご覧ください。

授業実施期間： 2018年9月~2019年2月末日

応募期間： 2018年4月~2018年6月末日(予定)

詳細は住総研のホームページでご確認ください。

(http://www.jusoken.or.jp/di_use/education2.html)